



国立長寿医療研究センターは株式会社ツクイと共同で要支援・要介護高齢者を対象とした歩行支援ロボットの効果検証を開始

平成 25 年 10 月 25 日

独立行政法人国立長寿医療研究センター（総長：大島 伸一、以下、国立長寿医療研究センター）と株式会社ツクイ（代表取締役社長：津久井 宏）は要支援・要介護高齢者を対象とした、歩行支援ロボットの効果検証を行うため共同研究を実施します。

経済産業省と厚生労働省は「ロボット技術の介護利用における重点分野」を策定（平成24年11月22日公表）し、ロボット介護機器の開発・実用化にかかる重点分野を定めており、2015年度から介護ロボット（ロボット介護機器）の介護保険適用の拡大も検討されていると言われるなど、介護ロボットの開発と普及が進んでいます。

そこで独立行政法人国立長寿医療研究センターと株式会社ツクイは、株式会社ツクイのデイサービスを利用中の高齢者に、株式会社本田技術研究所が開発した歩行支援ロボットを使用して、機能改善に効果があるか共同研究を行います。

歩行支援ロボットの効果が実証できれば、デイサービスにおける機能訓練プログラムの新たな開発につながり、要支援・要介護高齢者の歩行など機能の維持改善につながります。また介護スタッフの介護負担の軽減につながることも期待できます。

<研究方法について>

【研究期間】平成25年9月～平成26年3月まで6ヶ月間

【対象施設】／理学療法士および作業療法士が在籍する全国20カ所の株式会社ツクイのデイサービス

【対象人数】／約150名（上記を利用中の要支援・要介護の高齢者）

【研究方法】／通常の機能訓練に加えて歩行支援ロボットを使用

【効果検証】／国立長寿医療研究センターでデータ分析を行う

本件にかかるお問い合わせ先

国立長寿医療研究センター 自立支援開発研究部 島田

電話：0562-46-2311（代表）